

学校へ行こう

①胡桃太鼓同好会テレビ取材 ②大隅少年自然の家での歓迎遠足 ③樹祭で一致団結 ④合唱コンクールでの熱唱



図書館に行こう

- 開館 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- 問い合わせ先 串間市立図書館 館内 72-11177
- 問い合わせて先 串間市立図書館 (川端裕人) 球体の蛇 (道尾秀介) テロルの地平 (鳴海章) ひまわり事件 (萩原浩)
- 問い合わせて先 串間市立図書館 (山崎豊子) ひなた弁当 (山本甲士) 空色メモリ (越谷オサム) 人形のBWH (丸谷才一) からっぽを充たす (佐伯一麦) 龍馬と弥太郎 (童門冬二) 算数宇宙の冒険

【今月の新刊】

麻 布怪談 (小林恭二) あるいつか響く足音 (柴田よしき) 田舎の刑事の闘病記 (滝田務雄) SOSの猿 (伊坂幸太郎) カレンダーにない日 (勝目梓) 生死刻々 (石原慎太郎) ハッピー・リタイアメント (浅田次郎) 魔法使いクラブ (青山七恵) リメイク・シックステーション (豊島

**1月のテーマ展示**  
「ペット」

今月はペットに関する本を特集しています。新しく家族の一員として迎える準備のために、育て方やごはんの作り方、メタボやしつけのお悩みに、おでかけスポットや一緒に泊まれるホテルの紹介などいろいろ準備しています。

**シ**  
ヤボン玉同盟

製屋 アリエ/作

シャボン玉の中に現れた美少女に恋したぼく…。それは触れただけでパチンと消えてしまう、あまりにはかない恋だった…。表題作ほか「ジグソー・スイッチ」など全4編を収録。ヤング・アダルト時代の未熟な初恋を巧みに描いた短編集。

**静**  
人日記

天童 荒太/著

見知らぬ死者を悼み、全国を放浪する静人。日記という形式をとり、過酷な旅の全容と静人の脳裏に去来するさまざまな思いを克明に描く。200余編の生と死と愛の物語。直木賞受賞第一作。「オール讀物」連載に加筆修正して単行本化。

交流員レポート

第8代国際交流員ジュリアンの日本体験記

**今年もよろしくお願ひします**

明 けましておめでとうございます。正月は家族でゆっくりできる貴重な時間。皆さんゆっくり過ごしてくださいね。そういう訳にも行かないでしょうけど。

11月の話なのですが、22歳になりました！国際交流協会の皆さんと串間に来てくださった友だちが誕生会を開いてくださったことも楽しい誕生日を迎える事ができました。次の日は相当キツかったのですが、英語で「no pain no gain (痛み無しでは何も得られない)」ということわざがあるのですとしまししょう。

12月に入り保育園のクリスマスパーティーに呼ばれました。サンタの格好をするのは初めてで逆に自分がドキドキしました。国際交流員として保育園に行く時にカンチョーに気をつけると他の国際交流員に言われたのですが、最初は何も無く安心したのが間違いでした。一人の男の子がやるとインフルエンザのように広がって、みんなお尻をめぐりながらお尻をめぐって飛んでくる子どもの手を叩くサンタは世界中で日本にしかないんですよ。カンチョーは本当に日本の

**This month's expression**  
今月の表現

I can't wait for ○○

○○まで待ちきれない

Example: I can't wait for the Winter olympics

例：冬のオリンピックまで待ちきれない



文化ですね。ニュージールランドで遊び心でカンチョーなんてやったら、先生に怒られるだけではなく問題になると思いますよ。

2010年はいろいろと楽しみです。まずは冬のオリンピック、自分の大好きなアイスホッケーがあるのでワクワクします。ワールドカップもニュージールランドが出場権を握りました。一勝できるかは別の話ですが出場できただけですごくいい事です。

何はともあれ今年も皆さんよろしくお願ひします！



進路希望に応じて充実した学習を

進路実現のためのきめ細やかな取り組みを行っています。

宮崎県立福島高等学校(有枝定幸校長・職員40人、生徒数303人)は、串間市唯一の高校。全学年普通科3クラスですが、2年生からは進学コースと情報ビジネスコース(1クラス)を選択することができます。

今年度は情報ビジネスコースを充実させるための改革に取り組んでいます。これまで年1回2日間実施のインターンシップ(就業体験)を年2回6日間に拡大。就業体験の機会が大幅に増えました。また、2年生の1学期始業式後に「コース開き」を行いクラスが一致団結。その効果は学園祭での活躍や、珠算電卓検定1級を6人受験し全員合格などという結果に表れました。

また、今年度は「けやきタイム」を実施。国立大学進学・公務員合格・資格取得などの5つの講座を放課後に設け、生徒がそれぞれ進路希望に応じた講座を受講するというものです。授業を45分に短縮して作りだした時間で開講するため、部活動の時間は確保された上で、進路に応じた学習が可能になりました。さらに昨年から小・中・高一貫教育がスタート。これにより福島中学校との中高相互乗入授業や、中学校の求めに応じた出前授業の取り組みも始めました。このような活動によって小・中・高の連携が強化されました。

「本校の生徒は人懐っこくあいさつもいい。ダイヤモンドの原石です。高校生らしくしっかりと勉強、しっかりと生活してほしい。また、本校は特色ある学校づくりのため学校改革に取り組んでいます。ぜひ串間の子どもたちに福島高校へ来てもらいたいですね」と、有枝校長は話してくれました。

日本一を目指し日々練習



福島高校レスリング部

福島高校レスリング部は平成5年創立。平成18年に国民体育大会フリー74kg級で江藤公洋選手が優勝。そのほか県高校総体、新人戦、一年生大会など各種大会で輝かしい実績を残し、現在宮崎県強化指定校に認定されています。昨年の新人戦では学校対抗戦優勝、55kg級小山博也君、60kg級谷口博亮君、74kg級古川臨夢君が個人優勝。今年の県高校総体では学校対抗戦準優勝、60kg級谷口君、74kg級古川君が個人優勝と常に県内トップクラスの成績。2001年度世界選手権、アジア選手権代表の長尾勇気先生の指導のもと、日本一を目指し、日々の練習に励んでいます。